

11月8日(火)10時から中央公民館で「子育て応援講座 11月講座」を開催しました。

「多文化共生を考える～地域で一緒に育もう～」というテーマで、外国にルーツのある方との交流を通して、様々な場面での関わり方、地域での関わり方など多文化共生社会について学習しました。



ゲストスピーカーに、ベトナム出身のグエン ホアン ナムさんとモンゴル出身のガンバット ソド エルデネさんをお迎えし、お国の文化や習慣、子育てのこと、日本での生活で感じたこと、日本で働く外国にルーツのある人たちの現状や課題についてお話していただきました。



後半は、ゲストスピーカーを囲んで、お話の中では聞けなかったことなど、たくさんの質問も出て、楽しく交流ができました！



★講座に参加された方々の感想をみなさんと共有するために、アンケートの一部を掲載します。

ぜひ、ご一読ください。

参加者 21名 内アンケート回答者 14名

外国から日本に来られた方の生活のしづらさを初めて知った。日本は住みやすい国だと思っていたので。わかりやすい日本語、心をもって関わることを心がけたい。

別府で暮らしている外国の方が、どんなことで困っているか、逆にどんなことを学んでいるか、とてもよくわかった。私の職場で留学生の方がアルバイトをしていたり、買い物に來たりと、身近に関わりがあるのでとても勉強になった。

何となく感じていたことを、当事者の方々から直接うかがって、少しはっきりしました。日本語ができないことが大きなストレスになっていることや学校からの通信が多く、理解するのに時間がかかることなどを知り、改善策を考えてみたいと思った。

「やさしい日本語」ということを考えるきっかけになった。

今まで外国の方に関心はあったが英語が話せないので尻込みしていた。これから機会があれば「やさしい日本語」でお手伝いができたらと思う。

別府にはたくさんの外国の方がいて交流する場が多いので、何か困っている方がいたら少しでも役に立ってあげられたらと思う。自分自身もたくさんそこから学びたいと思う。

コミュニケーションの大切さ、お互いの気持ちをわかり合って楽しく生活をしていけたらいいと思う。

外国の方が困っていること、生活していて不安なことなど聞けてよかった。